第４回山田町総合計画審議会_議事録

開催日時：令和７年 11 月 17 日（月）午後１時 57 分から午後３時 45 分
開催場所：山田町役場５階委員会室
出 席 者：長﨑千秋委員、菊地敏克委員、佐々木剛弥委員、山﨑淳一委員、倉原宗孝会長
梅澤拓也委員、昆尚人委員、阿部誠二委員、高橋富士雄委員、船戸義和委員
千葉紀眞子委員、阿部美恵子委員
欠 席 者：佐藤清悦委員、沼崎真也委員、清水野牧子委員
事 務 局：田畑政策企画課長、佐藤課長補佐、鈴木係長

１　開会

２　町長あいさつ

〇佐藤町長

本日はご多用の中、第４回山田町総合計画審議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

これまでの審議会では、町民アンケートやワークショップの結果、第９次計画の振り返り、そして基本構想・基本計画の素案について、多角的なご意見をいただきました。委員の皆さまのご尽力に、改めて感謝申し上げます。

本日は、パブリックコメントの結果報告、実施計画、そして総合計画の答申案についてご審議いただき、答申を頂くこととなります。今回が最後の審議会となりますので、これまでの議論を踏まえ、総仕上げとなる建設的なご意見をお願いしたいと思います。本日はどうぞよろしくお願いします。

３　諮　問

－佐藤町長より倉原会長へ諮問書を手交－

４　議　題

（１）第 10 次山田町総合計画（基本構想・基本計画）パブリックコメント実施結果について

－事務局より説明－

〇倉原会長

子供たちの絵もあると、子供たちも読むような総合計画になるんでしょうね。

〇事務局・鈴木

総合計画が役場だけの計画ではなく、町民の皆様にとって、手に取りやすい、皆様にとっての計画となるよう意識して、このような形式とさせていただきました。

〇船戸委員

写真もどこかの会社から買い取ったイメージ写真ではなく、山田の写真をしっかり使ってあるというところもあって、印象としては非常に分かりやすいですし、なんか誰々さんが載ってるみたいな話につながるんじゃないかなと思って、良い取り組みだなと感じております。それから、16 ページに分野横断の旨を明記いただいたということも非常に良かったなと思っております。それから、パブリッ

クコメントは無かったということで、これは総合計画に限らずかもしれませんけれども、山田町のパブリックコメントの回答率はこういうものなんでしょうか、これまでの中で、どの程度パブリックコメントが返ってくるものであったか、少しお聞かせいただきたいです。

〇事務局・鈴木

現在の総合計画を策定した際のパブリックコメントですが、三名ほど意見を出された方がいらっしゃいました。

〇事務局・佐藤

地域公共交通計画策定の際には、意見は０件という結果でありました。山田町の現状とすれば、パブコメで意見が寄せられるということはあまり多くないという印象を持っております。

〇船戸委員

そういうこともあろうかという予想はしていました。あえてこのような全体の計画に意見を出す方は、なかなかいらっしゃらないというのも現状だと思います。そういう意味で、少ないとか誰もいらっしゃらないということはありうることだと思うんですが、一方で、資料４に関連してくると思いますが、二項目目に「町民参加と協働の推進」というところが含まれていますが、町民の方々にいかに参加していただくかというところも重要な一つの取り組みなのではないかと思っています。その意味で、ちょっと範囲が大きすぎると答えにくいところはあるので、いかに細切れにして自分たちの町というよりは、飯岡地区のように地区を限定して地域に関わって地域のマネジメントに意見が出るような、細かな取り組みというのが求められるのではないかというところで、そこから始まって、そのうちパブリックコメントで意見が出てくる風土になりうるのかなと考えています。

〇倉原会長

今後も町の人たち、いろんな立場の人たちの声を聞きやすい、あるいは出しやすいような仕組み、仕掛けを検討していくことがある意味で総合計画の一つの中身としても大事じゃないか、という意見でした。一方で、これは私の勝手な想像ですけど、俗に言うパブコメという各自治体で行われているものとは別に、山田町では日常的にもそういう会話があるというような形だと、さらに面白いのかなと思います。いずれにしても大事なご指摘だったと思いますので、今後ぜひお願いします。

他、いかがでしょうか。

それでは、次の議題に移ります。

（２）第 10 次山田町総合計画（実施計画）について

－事務局より説明－

〇倉原会長

実施計画ということで、いくつか具体的なところご説明いただいたところです。ご質問、ご意見をお願いします。

〇佐々木委員

基本構想・基本計画の６ページには、「本町の人口は令和 32 年に約 7000 人まで減少することが予想されています」とあり、55 ページに商工業の現状と課題が記載されていて、上から四番目に、「地域経済の活性化や産業基盤の拡充を図るため、企業誘致の推進にも取り組んでいくことが求められています」とあります。それを踏まえて主要事業が定められてるというような捉え方でよろしいでしょうか。

○事務局・鈴木
　おっしゃる通り、基本計画を基に具体的な事業である実施計画を策定します。
○倉原会長
　他にいかがでしょうか。
○阿部(美)委員
　防災について、まずハザードマップについてですが、文字が小さく、見にくいと感じています。もう少し大きな文字で、見やすい表記になるよう検討していただきたいと思います。また、以前総務課に電話したこともありますが、避難経路の矢印や津波の高さを示す標識が高い位置に設置されており、高齢者や子どもには見えにくい状況です。現在の標識は緑色で統一されていますが、視認性やインパクトが弱いように感じます。色や大きさなどを改善できないか、検討していただきたいです。以前は難しいという回答をいただきましたが、それでも改善をお願いしたいと思っています。また、ハザードマップを配布する際には、「標識はこういうものですよ」とか「見えにくい場所にありますので注意してください」などの情報を、分かりやすく周知していただきたいです。さらに、町中に設置されている地図も、文字が小さく見づらい状況です。高齢になるとどうしても字が見えづらくなるため、その点にも配慮をお願いしたいです。
　加えて、今後は高齢の夫婦二人暮らしや単身世帯が増えてくると考えられます。近所の方が気づく場合もありますが、災害時には自分のことで精一杯になる可能性があります。足が不自由な方や認知症の方は、避難を促してもすぐには動けない場合もあります。こうした方々への支援体制についても検討していただきたいと思います。
○倉原会長
　ご要望、アドバイスということかと思いますけど、いかがでしょうか。
○事務局・鈴木
　ご意見ありがとうございます。避難看板については既に設置されていることから、予算の関係もございますので難しい部分があるかと思いますが、ハザードマップについてはこれから改定するものですので、担当課の方にしっかりと伝えて、どなたでも見やすいザードマップとなるようにしていきたいと考えております。
○倉原会長
　他にいかがでしょうか。
　今後進めていく中で助言等を踏まえたりしながら事業内容を改善していくことはあるのでしょうか。
○事務局・鈴木
　実施計画事業につきましては、毎年度事業の見直しを行っていくことになっております。
○倉原会長
　ぜひ、そういった意味でも、いろんな助言を共有いただけるといいですね。
○阿部(美)委員
　サーモン養殖生産拡大支援事業についてですが、私はサーモンについてよく知らず、これまで購入を控えていました。調べてみたところ、サーモンとはマスとサケを組み合わせたような魚であると知りました。消費者が理解しやすいように、簡単な説明があると良いと思います。また、最近のニュースで、岩手県産サーモンを統一ブランド化するという話があったと思うのですが、その点について教えていただきたいです。

○菊地委員
　現在山田町で養殖されているものはニジマスです。他地区ではニジマスの他、ギンザケやサクラマスが養殖されています。県では、これらを一括りにしてサーモン養殖としてブランド化を進めようとしている状況です。
○倉原会長
　先ほど実施計画の見直しについてお話がありましたが、このKPIが、目標値としてはいいと思うんですけど、あくまで参考にするくらいで振り回されないようにした方がいいのではないかと思います。そういうのも毎年考えていただければと思います。
　では、次の議題に移ります。

（3）第10次山田町総合計画答申案について
　　－事務局より説明－

○倉原会長
　それでは、ご意見、質問をお願いします。
○阿部(美)委員
　二項目目の「活動に参加しやすい環境を整えてください」というところですが、具体的に環境というものはどういったことが想定されますか。
○田畑政策企画課長
　前回の審議会でもお話ししましたが、まちづくりワークショップに参加した社会人の方々から、「町長と直接意見交換できる機会を設けてほしい」といった声がありました。また、「今回のように若い人や様々な職種の方々が集まり、一緒に議論する場を継続してほしい」という意見も寄せられています。そのため町としても、町民の皆さんが参加しやすく、意見を言いやすい場を設け、「みんなで町をつくっていく」という関係を保っていきたいと考えています。今回の計画では、「町民が～」という表現のほかに、「町民一人ひとりが～」という言葉を多く使っています。「町民」という言葉だけでは、自分には関係がないと思う方もいるかもしれませんが、「一人ひとり」と示すことで、自分事として捉えてもらえるのではないかと考え、意識して使用しています。今後も引き続き、皆さんからのご意見を伺いながら、まちづくりを進めていきたいと思います。
○倉原会長
　今の部分は、答申書に反映させた方がいいのではないでしょうか。いろんな世代っていうの含めて説得力があるような気がしたんですけども。どうでしょうか。それでは、「一人ひとり」を含めてよろしいでしょうか。
○委員一同
　特段異議はなく、了承された。
○倉原会長
　他にありましたらお願いします。
○船戸委員
　今のところなんですけど、「町民一人ひとりが」というのは非常にいいと思ってまして。私が一個だけ付け加えたいとすれば、「町民一人ひとりが主体的に」という感じにできたらいいかなと思いますが、

あんまり修飾語が多いと分からなくなるというところもあるので、どうでしょう。
○倉原会長
「町民一人ひとりが自ら地域を支える役割を担えるよう」では、まだちょっと受け身的な印象があるっていう感じですかね。「主体的に」が初めにくると、別に行政から働きかけられなくてもやるっていう部分が強くなりますね。ただ、言葉として美しいものが浮かばないですね。「一人ひとり」のところにその主体性も入ってるという認識でいいでしょうかね。他はいかがでしょうか。
○阿部(美)委員
少し話がそれるかもしれませんが、パブリックコメントについて、これまでの回答率は非常に低く、数名程度にとどまっていますよね。広報で計画やアンケート結果が掲載されているのを拝見しましたが、グラフや数字が示されているだけで、「何を伝えたいのか」が分かりづらいと感じたことがあります。広報に載せる以上、町民の方々に、「役場の担当課がこういう取組をしているんだ」と伝わる内容であるべきだと思います。結果として、人口減少や高齢化といったマイナス面ばかりが強調されてしまうのではなく、「そのためにこういう対策を考えています」といった視点も示すことで、理解が深まるのではないでしょうか。企画課と広報担当が連携し、町民にとって「自分たちの町のことだ」と感じてもらえるような発信が必要だと思います。「町民一人ひとりが」と表現するのであれば、町民の意見が受け止められ、参加できる雰囲気づくりも大切です。広報を見ると、結果だけが載っている印象があり、「写真を載せて終わり」「誰々さんが表彰されました」で終わってしまっているように感じることがあります。そこに担当者や関係者のコメントが入るだけでも、伝わり方は変わると思います。今回の計画についても、ぜひ企画課と広報担当が協力して作成し、「自分も意見を言っていいんだ」「アンケートにも参加してみよう」と思えるような工夫をお願いしたいと思います。時間はかかるかもしれませんが、町民に浸透していくきっかけになると期待しています。
○倉原会長
今のお話を文面に反映させるとすればどこになるでしょう。
○阿部(美)委員
反映させなくてもいいです。
○田畑政策企画課長
一項目目の各課との横断的な連携の部分になりますかね。
○倉原会長
横断的という言葉を使うだけでなく、その意識を持つことは大事だと思います。「横断的かつ総合的に」とすると、少し言い過ぎかもしれませんが、そのような視点が必要だと感じています。
言葉にするのは難しいのですが、皆様もお気づきの点があればご意見をいただきたいと思います。皆様、よろしいですか。それでは、もう一回全体を振り返ってご意見、質問はございませんか。
○山﨑委員
まず、健康分野についてですが、「医師の招へい活動を一層強化する」と記載されています。ここについて、具体的にどのような取組を行っていくのかをお伺いしたいと思います。また、「医療機関を地域全体で支えていきます」とありますが、住民と医師の間に距離があるという声も耳にしますし、その距離をどう縮めていくかが大切だと考えています。せっかく山田町に来ていただいている医師の方々が、どのような思いを持っているのか。町民が支えるという視点に加え、医師側の考えも聞きながら、相互理解を深める場・話し合う機会を設けていくことも重要ではないかと考えます。

次に、交通分野についてですが、「交通空白行政区域」の指標について、目指す方向が下矢印となっているのが他にはあまり見られず、この点について確認したいと思います。

○事務局・佐藤

まず、医師確保に関するご質問についてです。国は、令和６年 12 月に「医師偏在の是正に向けた総合的な対策パッケージ」が策定しました。このなかでは、新規開業する診療所に対する支援に加え、事業承継、例えばご子息への継承などを行う医療機関に対して、施設整備や設備充実を支援する制度が示されています。また、一定期間地域に定着することを条件とした支援策なども盛り込まれています。これらの国の動きを踏まえ、町としても令和８年度から、新規開業だけでなく事業承継を行う場合にも補助できるよう補助対象を拡大する方向で現在調整を進めています。医師偏在は、一つの施策で解消できるものではありませんが、経済的なインセンティブを通じて医師確保につなげたいと考えています。

次に、住民と医師との距離を縮めるための取組についてご意見をいただきました。現在、町では「山田の医療を考える会」といった懇談の場を設けていると承知しておりますが、改めて担当課に確認し、今後の取組に反映できるよう検討したいと思います。

最後に、交通空白地の指標についてですが、「交通空白行政区域１箇所」という現状を「０」にすることを目指しているため、目標方向が「下向き」となっています。「増やす」のではなく「減らす」目標のため、このような表現になっているものです。

○倉原会長

他にはいかがでしょうか。

○菊地委員

町内の舗装の進捗率は現在どの程度なのでしょうか。私の住んでいる地域でも、舗装を進めたいのですが、空き家が増えていることで承諾が得られず、結果として整備を一時断念しています。町民は町税を納め、町政に協力している立場ですので、そのような道路について町道認定していただいて舗装をしていただけないでしょうか。すぐに対応することが難しいとしても、計画の中に位置づけていただければと思います。

○田畑政策企画課長

私道整備についてのお話かと思います。町では、私道整備費用に対して七割を補助しています。町道については、側溝から側溝まで五メートルの幅があり、車道部分で四メートルを確保できれば認定される基準があります。また、町民の皆さんが利用する道路であることが前提です。そのため、一部の方のみが使う道路は、私道整備の補助を活用していただくことになっております。今回のご意見は、建設課にお伝えさせていただきます。

○菊地委員

地区の中に空き家があり、そうなると、残った人たちでその家の分も負担をしなくてはいけないので、そこがネックになるんです。

○田畑政策企画課長

これまで私道整備の補助を受けて自費で整備されてきた町民の方もいらっしゃいます。そこを急に変えるというのはなかなか難しい面もございます。ご意見があったというのは建設課に伝えさせていただきます。

○倉原会長
　今のお話は道路管理の話だけではなくて、これまで共同でやっていたものが、住民が少なくなってくると、一部の人に負担が集中するというのは、山の管理だったり、あるいは都市だと集合住宅の管理だったり、いろんなところで今後出てくる社会的な課題です。模索しながら取り組んでいただければと思います。
　他は、全体としていかがでしょうか。それでは、議題の審議はここまでにします。

５　答　申

　　－倉原会長から佐藤町長へ答申書を手交－

○長﨑委員
　日頃から町民のためにご尽力くださいまして、ありがとうございます。今回、この会議に参加させていただいて、自分が知らなかったことがたくさんありました。勉強にもなりましたし、もしかしたら私のように全然分からない町民の方もたくさんいるんじゃないかなと感じました。これからも、大人だけではなくて、子供たちにも魅力だけではなく、山田町の課題についても発信していただいて、一緒に考えていきながら、山田町にいつまでも残って、町のことを守り続けてくれる子どもたちをこれから育てていってほしいと感じました。よろしくお願いします。
○菊地委員
　各分野、本当によく検討されまして、計画の素案が作成されました。水産業に携わるものとしまして、この厳しい漁業環境を取り巻く状況を克服していくためにも、本計画で示されました五つの取り組みの方向性、これが実現されますようお願いをいたしたいと思います。
○佐々木委員
　今回、初めて参加させていただきまして、非常に貴重な体験をさせていただきました。町民大勢の方の意見を取り入れて、大変立派な計画ができたと思います。これは、山田町のこれからの経済の成長戦略にとって基盤になるものだと思いますので。この計画を実行できるように、みんなで力を合わせてやっていければいいと思っています。ありがとうございました。
○山﨑委員
　この計画の目指すところを実現できるように、私も微力ながら協力をしていきたいと思っております。町の経済状況は、少子高齢化や物価高騰など、なかなか厳しい状況ではございますけども、どの時代でも厳しい時代があり、先人もその時代を乗り越えてきたということで、私も山田町の一町民として、行政の方々に協力をして、これからもより良い山田町を作っていこうという、そういう決意でおりますので、今後もよろしくお願いいたします。
○梅澤委員
　私たち金融機関としましては、地域経済に着目した活動というのが中心となってきますが、現在の支援におきましては、融資のほか、経営改善支援、事業承継支援、販路拡大等のマッチング支援などを外部機関とも連携しながら行っております。その中で、私たち山田町金融団としましても、地域において現在どのような支援が必要とされているかなど、適宜情報共有しながら、地域の発展、そして支援の供給につなげまして、地域の銀行としての役割を果たしていければと、そして山田町の発展に寄与していければと考えております。山田町におかれましては、引き続き必要に応じたご指導、ご支

援をいただければと思いますので、引き続きよろしくお願いいたします。
〇昆委員
　総合計画の素案を拝見し、とても良い計画ができあがったと感じております。特に、子どもたちの絵を取り入れていただいたことで、大人だけの計画ではなく、今を生きる子どもたちの計画でもあるというメッセージとして受け取りました。また、五年後には人口が 1 万 1,600 人になるという予測がある中で、その数字をどのくらい上回れるのか。そのために何が必要なのかを見極めていただきたいと思います。私たちにできることは、行政に全面的に協力し、町民一体となって、一人ひとりが主役として考えていく町をつくることだと考えております。今後ともよろしくお願いいたします。
〇阿部(誠)委員
　この会議に参加するまで、自分自身の視野が少し狭かったのではないかと感じております。各分野の職業の方々のお話や、さまざまな問題点、今後の課題などを、この場で改めて知ることができました。とても良い案ができあがっていると思いますし、魅力ある山田町に他の市町村から人が集まり、子どもたちにも一人でも多くこの山田町に残って、盛り上げていってほしいと感じています。今後ともよろしくお願いいたします。
〇高橋委員
　業界を代表して一言でございますが、色々なメニューがある中で、それぞれ皆様の業界でもそうかと思いますが、人材獲得というのは今非常に難しい問題であると思っております。特にも、介護の業界はきつく、給料が安いと敬遠されがちでございますが、山田町では、介護職員の初任者研修など人材育成事業に取り組んでおりまして、町内の民間の事業者の方々からも町に対して称賛の声が上がっております。これから介護のお世話になる世代でもありますので、ぜひこのような人材育成事業は継続していただくようお願いしたいと思います。
〇船戸委員
　私は委員の皆さんの中では少数派である山田町外の人間ですけれども、ご縁があって復興支援のところから始まって、今回関わらせていただくことができました。私はコミュニティの支援を主にしていますけれども、そういう中で山田の皆さんと関わることがあって、つくづく感じるのは、町の最大の資源というか、最大の宝の一つは人なんだなということをすごく感じておりまして、その中で、人口減少社会になるというのはずっと言われてますし、実際そのようになるとは思いますけれども、その町を構成する人にどのように投資して、どのようにその人たちと次の世代を作っていくか、次の十年を作っていくかというところが、今後の 30 年、40 年、50 年を占う上でも、次の十年、すごく重要になるんではないかなという思いを持って関わってきました。その人たちにどう投資していくか、どうその人たちを活性化していくかというところ、私も微力ながらご一緒して今後も活動していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。
〇千葉委員
　本日は、初めてこの場で発言させていただきました。先ほどの文章にもありました通り、私も町民の一人として、もっと自信を持って積極的に意見を述べたり、質問をしたりすればよかったと感じています。資料を見ると、役場の皆さんが多くの努力を重ね、丁寧に情報をまとめてくださっていることが分かります。ですので、自分の意見や質問を発信すれば、きちんと答えていただけたはずで、最後になって少し後悔しています。また、本日の資料で示された人口の数字を見て、特に令和 12 年における山田高校の生徒数の目標があと三人しか増えないという予測を見て、とてもショックを受けまし

た。私自身、子どもを増やすことはできませんが、周囲の環境を整えるためにできることの一つとして、町民の「一人ひとり」の中の一人として、微力ながら努力していきたいと思います。ありがとうございました。

〇阿部(美)委員

初めてこの会議に参加させていただきましたが、いろいろなことを学ばせていただきました。一町民として、自分なりに意見を話したつもりです。こうして会議に参加する町民が一人でも二人でも増えて、町のことを知り、皆さんの考えを知り、自分も「こうしたらいいのかな」「どう協力しようかな」と考える人が増えると良いなと思いました。私はまだまだ分からないことが多く、本当に恥ずかしい質問をしたりお願いをしたりして、皆さんにご迷惑をおかけしたと思います。ですが、今日一番嬉しかったことは、「横断的に」という言葉が実際に生かされていたことです。「うちの課は終わったから、関係ないよね」というような進め方が無いようにしていただければと思います。これからも各課の皆さんや関わる方々、そしてそれを仕切る町長さんを、微力ながら応援したいと思います。今後とも、町のためにどうぞよろしくお願いいたします。

〇倉原会長

僕は町外の人間ですが、毎回、この会議で多くのことを学ばせていただいています。また、山田町の方々の気質なのか、皆さん非常に自由に、率直なご意見を分かち合いながら出されており、そのおかげで非常に有効な計画になっているのではないかと思います。とりわけ事務局の皆さん、調整や取りまとめが大変だったと思いますが、本当にありがとうございます。そんな中で、非常に良い総合計画ができたと思います。ただ、これを実際に進めていく中では、先ほども話題になりましたが、その都度見直しを行い、より有効で具体的なものにしていく必要があると思います。

個人的な話ですが、私が山田町の行政に関わらせていただいたのは、震災の数か月前の事業検証の時が最初でした。病院周辺の住宅地の区画整理に関する補助事業についてで、目標としては浸水０件としていましたが、台風の影響で一部床下浸水があったもののそれは仕方ないよねという評価になったところでした。ところが、その数か月後にマイナス評価要因となった浸水数件どころではない、津波が発生しました。

その後、多くのご苦労を経て現在に至るわけですが、復興と同時に地域の人口減少、少子高齢化、経済など、さまざまな課題も出てきています。これは山田町に限らず全国の課題ですが、そんな中で、地方の一つの町から新しい輝きを生み出すことが、その町のためであると同時に、日本全体のためでもあると私は考えています。山田町には、その可能性の一端があるのではないかと思います。また、この町には、多くの形で魅力があり、町の将来に向けた希望も感じられます。表紙に掲載されている子どもたちの絵なども、単に視覚的なものだけではなく、世代や過去・現在・未来をつなぐ表現として中身に現れているのではないかと思います。今後も、期待を持ちながら、機会があれば私自身も一緒に学ばせていただければと思います。ありがとうございました。

○佐藤町長

四回にわたるこの審議会において、このような素晴らしい計画ができたことに御礼を申し上げたいと思います。そして、代表で倉原先生の方から答申書を先ほどいただきました。その中で阿部さんがおっしゃっておりましたが、横断的に行政を進めるべきだと、こういうことでございます。そして、二つ目に、町民一人ひとりが参加しやすい環境をということでございます。そして三つ目では、柔軟に適宜適切にしっかりとローリング、見直しをしていくようにと、こういうことでございます。

今後、この計画が山田町の最上位の計画で、このことを基本に今後十年間、町民の幸せのためにこの計画を実行していくと、そういうことでございます。度々出ておりますが、人口減少、そして少子高齢化、そして漁業にも関係するところでございますが、気候変動、こういうものにしっかりと柔軟に対応、適宜に対応していくと、こういうことでございます。多くの問題がございます。組合長さん、おいでございますが、組合のありようを今後どういう風にしたらいいか。今後、事業のあり方もどういう風にしたらいいか、そういうこともありますし、雇用を守るためにはやはり企業の誘致も必要でありましょう。そういう中で、陸上養殖の誘致等を考えていかなければならないと思いますし、県の方で行っております中央と沿岸部の格差是正ということで、大規模施設園芸の誘致というところもぜひ実現をしていきたいと、そういうふうに思っております。また、道の駅、二年経つわけですが、大体一年間に百万人ほどに近い方が、「おいすた」には来ておりますが、この 7 月 26 日に道の駅として再認定された船越の愛称「いぐべす」行きましょうという、そういうような愛称でございますが、そちらの方もそれぞれ特徴を持って多くの方が来ておりまして、それぞれのインターの袂にございます 45 号線を通って、山田町の中にもっともっと船越公園等を中心に多くの方が常態的に来ていただけるような、そういう山田町まるごと道の構想という、そういう構想も八年、九年前から私言っておりまして、その実現に向けてしっかりと進めていっているところでございます。

この皆様方の思いというものが、先ほど商工会の昆専務さんの方からお話がありましたように、しっかりと子供たちの幸せのために受け継がれ、そしてそれを伝えるべく、その基本の計画となると、私はそういう風に思っております。まさしく、船戸先生がおっしゃった、人は宝、山田がみんな一つになってこの計画のもとに素晴らしい未来が作れればと、そういう風に思っております。

このように、皆様方のこの審議において原案を可とするということでございます。しっかりと緊張感を持って今後も町政を進めてまいりたいと、そう思っております。ありがとうございました。

6　その他

－事務局より今後の計画策定スケジュールについて説明－

7　閉会